

# 3DCGによるバーチャルファッション映像発表

in いしかわファッションフェスタ 2022 (2022/11/6 村山)

いしかわファッションフェスタは、いしかわファッション協会が主催するイベントである。毎年恒例で11月上旬に開催されており、2022年度は、開館したばかりの石川県立図書館・だんだん広場にて開催された。本学メディア情報学科の村山研究室4年生山本雅治君は、3DCGソフトCLOおよびマーベラスデザイナーなどを駆使して作成したバーチャルファッション映像の発表を行った(図1~5)。客席からは、初めて見る映像に感嘆の声があがった。一般視聴者からのフィードバックがあったことは学生にとっての学びも多く、卒業研究への良い足がかりとなった。

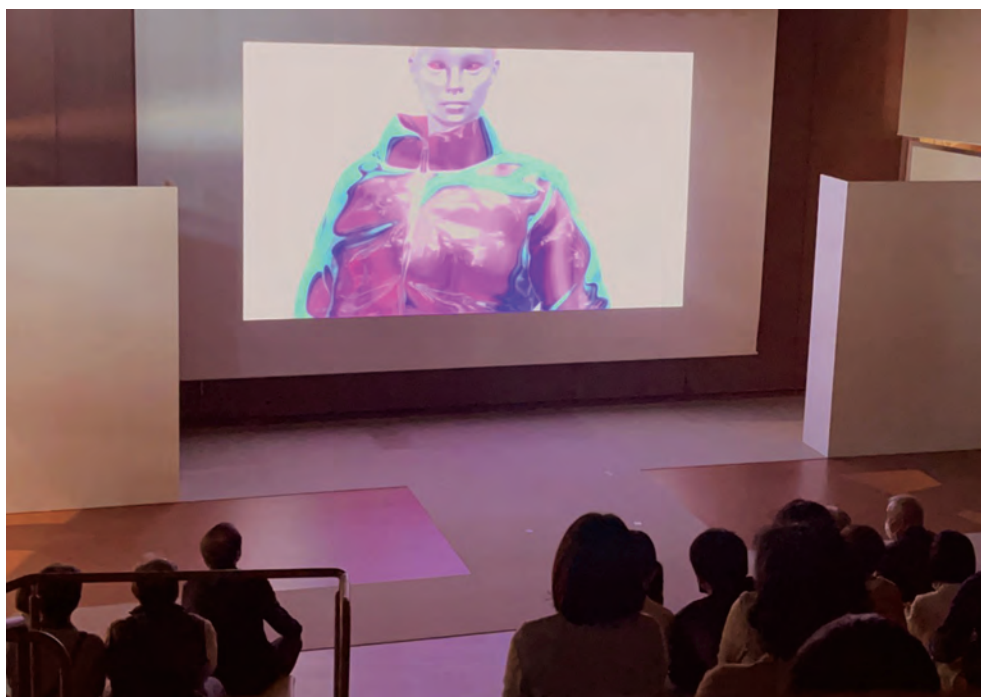


図1: 石川県立図書館 / だんだん広場での上映風景

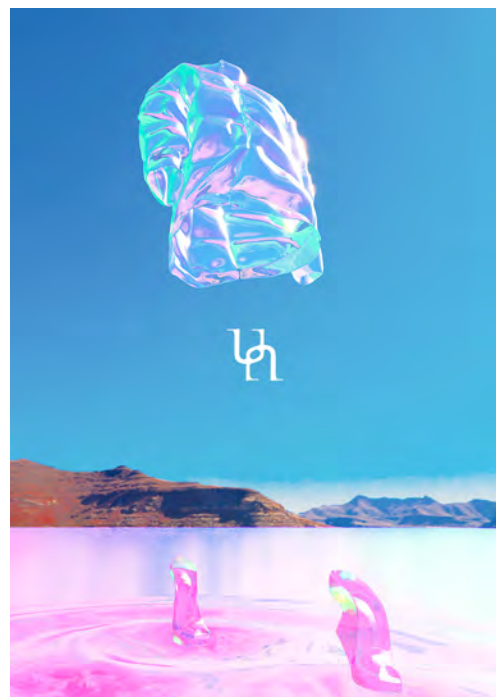


図2: 映像シーン1



図3: 映像シーン2

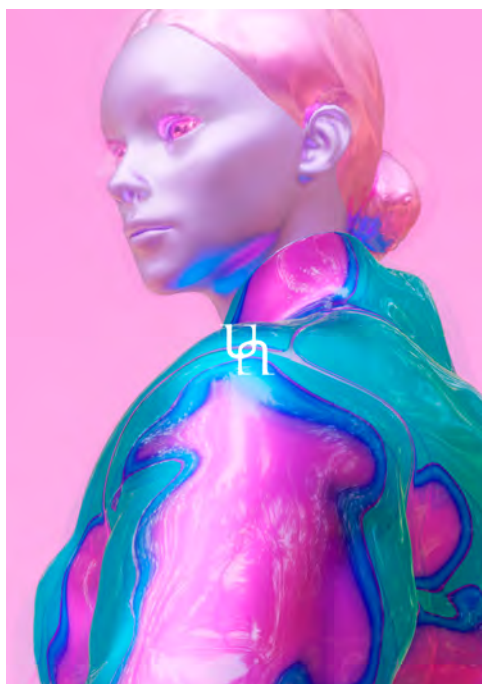


図4: 映像シーン3



図5: 映像シーン4

その他、「小学生・中学生・高校生のためのファッションデザイン画コンクール」の上位入賞者らのデザイン画を3Dにおこしてモーションをつけ、表彰式でアバターによるウォーキングプレゼンテーションを行った（図6）。受賞した子供達は、自分が描いたデザイン画が立体になって動き出す様子を見て驚き、「表彰式で緊張していたけど、絵が動くのを見てびっくりした。うれしかった。来年も絶対応募する」「私もソフトで立体にするのをやってみたい」などと述べており、ファッションフェスタ初めての試みに、満足している様子であった。



図6: 石川県立図書館 / だんだん広場での表彰式風景

会場では、ユカアンドアルファ社と協力して、CLOを使用したバーチャルファッション制作の体験会を行い、興味を持って訪れた客にソフトの使い方を教えた（図7）。画面は、左側に3D、右側に2D（洋服のパターン）が表示される。ソフト上で簡単に丈調節や生地柄変更をすることが可能である。縫製の指示を入れてシミュレーションをかけると、指示した生地属性の通りに生地が重力に従って落ち、実際のシルエットを確認できる。

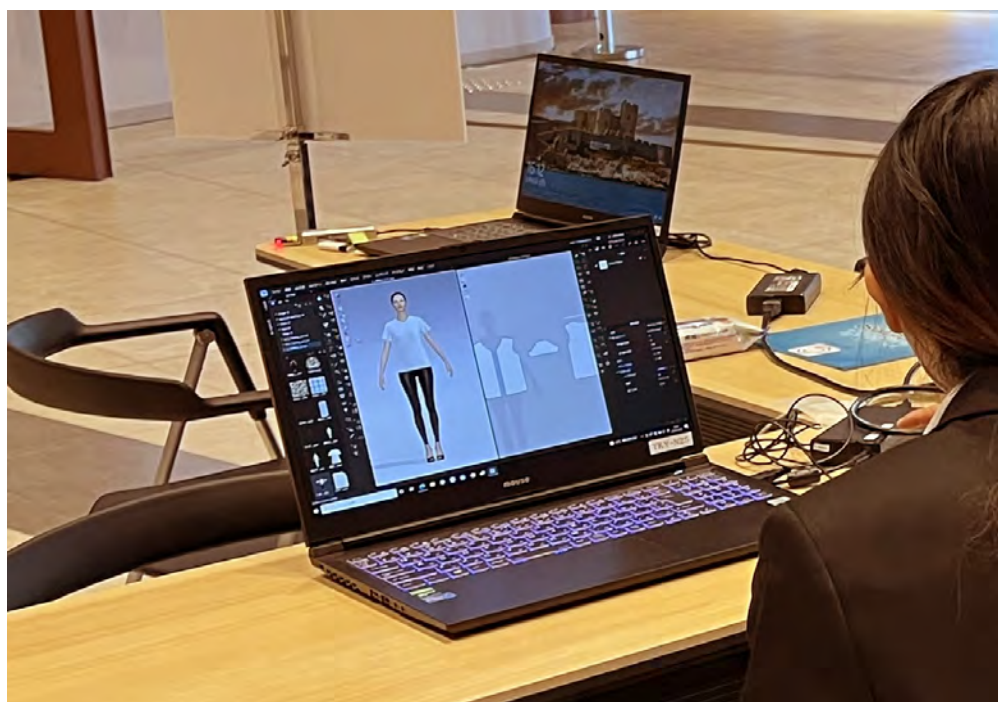


図7: CLOによるTシャツ制作体験の様子